

「経費節減病」というのは、多くの会社で繰り返しかかる病気であり、不景気や業績低下時に重症となる。

無為無策の社長の関心は「経費節約」である。それらの社長は、決算書を見てもチンプンカンプンであり、損益計算書から低業績あるいは赤字と知っても、打つ手が分からない。そこでのめりこむのが経費節約である。

経費に焦点を合わせて、これを節減しようとしても、よほど放漫な会社を別にすれば、経費を5%節減しようとしたら、ほとんどの会社で日常活動に大きな支障をきたすことはまず間違いない。

「経費節減病」というのは多くの会社で繰り返しかかる病気であり、不景気や業績低下時に重症となる。しかし経費節減に成功した会社は世の中にないのである。だから経費節減を試みるなどやめるべきである。

事業の経営というものは、経費をおさえるという消極的な態度ではなく、売上を積極的に上げ、利益を大きくすることこそ肝要である。経費をおさえることは極めて難しく、利益をあげる可能性は非常に多いからである。

費用は、単に経費という観点から見るのではなくその特性の分析から出発しなければならない。そのために、費用をその投入対象にしたがって、日常の繰り返し仕事の管理に使われる「管理的費用」、「今日の収益」をあげるために使われる「販売促進費」、「将来の収益」を上げるために使われる「未来事業費」の三つに分類し、考え方を整理することが大切であり、それぞれの活動に対する基本的な方針を決め、推進することこそ、成果を挙げる重要な態度である。

そして中小企業の大部分では、管理的費用は過大であり、販売費と未来事業費は恐ろしく少ないのである。このことは、事業の経営は企業の内部を管理することだと思いきや、正しく管理することではなく、市場と顧客に対する活動なのであるという、正しい認識を持ってもらいたいのである。

一倉定の社長学第5巻「増収増益戦略」より

組合員の皆様 こんにちは

東日本大震災ならびに原子力発電のニュースは今も連日報道されています。被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈るばかりです。

また国内原材料の状況がなにかと厳しくなっております。包装材、添加物はもとより主原料である小麦粉の大幅値上げは、自社の経費削減の枠を超えており、ここで値上げの施策を打たねば企業の明日はないものと思われまます。私ごとですが、オオタメンでは2円～6円の値上げをお客様にお願い申し上げたところでした。外食において非常に厳しい時代ですが、10円～程度の値上げをして頂き、共に明日への道としたいと願っております。

組合員の皆様には新しい販売施策が功を奏し、明日への繁栄を祈念しております。

大阪府製麺商工業協同組合 理事長 太田年明

全麺連よりのご報告

PL法に対応した
組合員だけが加入できる
PL保険の案内です

《加入の流れ》

①全麺連 PL 総合保険

加入依頼書の送付
(新規契約締切は7月20日)
必要事項を記入して全麺連へ送ると
見積書が届きます

②保険料の振込

締切 7月30日

③加入者証の送付

保険期間は、22年9月1日～23年9月1日
保険期間の途中でも加入もできます

組合員だけの
お得な PL 保険
全国制度

全国製麺共同組合連合会の組合員以外は加入できません。
大阪製麺商工業協同組合員は加入できますので、申込みを受け付けています。
見積もりをとって、比べてください。断然お得です。
年間で何万円も違うと喜ばれています。
組合費払っても値打ちがあるのです。

理事会等のご報告

4月26日(火曜)

午後3時～5時 事務局に於いて

出席理事	8名・委任状3名	欠席	1名
出席者	監事、相談役、事務局	計	11名
組合員の動向	組合員 59社	賛助会員	58社

■ 開会挨拶

理事長 太田年明

■ 報告事項

- 22年度 理事監査収支報告の件
- 小麦粉価格改定の件

■ 上程議案事項

- | | |
|-------------------|--------|
| 1・ 22年度 事業報告の件 | 主原副理事長 |
| 2・ 22年度 決算報告の件 | 末吉専務理事 |
| 3・ 会計監査報告 | 野口監事 |
| 4・ 23年度 事業計画設定の件 | 太田理事長 |
| 5・ 23年度 収支予算案の件 | 末吉専務理事 |
| 6・ 23年度 賦課金徴収方法決定 | 柳事務局長 |
| 7・ 出資配当金の件 | 太田理事長 |
| 8・ 会議室一時貸の件 | 太田理事長 |

終了 5時10分

今月ご紹介の賛助会員様

賛助研修会員の企業紹介ページです。

組合員の皆様、こんにちは。平素は弊社小麦粉をご愛顧頂き、誠にありがとうございます。東日本大震災に際し、一部の弊社工場も被災致しました。復旧への取組みを通じ、主要食糧である小麦粉をお客様に安定的にお届けすることの大切さ、重要性を再認識致しました。

さて、弊社は一昨秋につけめん用粉「傾奇者（かぶきもの）」を発売致しました。これは、つけめんという麺市場における大きな起爆剤を、一過性のブームに終わらせず、新たな食文化として定着させることが、組合員様をはじめとする製麺業者の皆様、外食店の皆様、そして我々製粉メーカーと、麺に関わる全ての者にとって大きなプラスになると考えたからです。「つけめんは広まるのか？」と外部から眺めるのではなく、「当社も当事者としてつけめんを広めるんだ！」という意気込みから生まれたのがこの「傾奇者」です。つけめんは現在、関東圏を飛び出し、日本全国で定着期を迎えつつあると言えます。関西圏においても多くの繁盛店や専門店が生まれ、メニューとしてのつけめんも定着しつつあります。麺が別盛りになっているつけめんは、麺そのものが大きな差別性の鍵となります。その点で、組合員の皆様の製麺技術、我々製粉メーカーの製粉技術をお客様にストレートにお伝えできるメニューと言えます。

是非、これからもつけめんの拡大・定着に向け、お手伝いをさせて頂きたいと思っております。つけめんについて何かありましたら、お気軽に弊社営業担当までお問い合わせ下さい。当社はつけめん市場に本気で取り組んで参ります。

日清製粉株式会社

〒532-0003
大阪市淀川区宮原3-5-36
電話 06-6350-6001
FAX 06-6350-6020
http://www.nisshin.com
大阪営業部 部長 小谷 茂



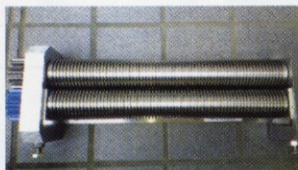
組合員の皆様、賛助会員の皆様、こんにちは。若輩者ではありますが、弊社のPRをさせて頂きます。

私は22年前に製麺製造機械の大手メーカーに入社しました。機械技術の知識はもとより、麺の知識も乏しい中で何をすべきかを考えました。その答えはお客様の現場にしかないと思い上司に相談したところ、素人同然の私を快く受け入れて頂いたお客様が居て、数ヶ月の間も現場で研修させて頂いた事を、今でも忘れた日はありません。

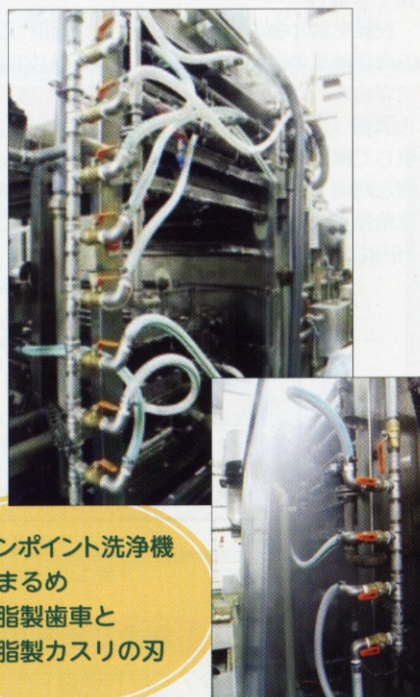
時代の変化とともに、お客様の商品と製麺製造機械は日々進歩しており、多品種少量生産や、逆に少品種大量生産型の体制が目立った様に思います。製麺製造業において現在に至っても変わらない点は、食品を扱う立場である限り、“安心”、“安全”は不可欠です。弊社では、お客様の商品に直接触れる機械や部品の“安心”、“安全”を常に考え、金属同士が周動する際に生じる磨耗粉をなくすために、一部品を樹脂製に変更する事で、金属の異物混入を防いだり、手の届かない箇所や直接目視できない箇所へのピンポイント洗浄装置を開発しました。《別写真参照》

麺業界でも問題となりやすい大腸菌群の汚染防止を目的とし、機械装置側（ハード側）という面からお役に立てればと考えております。

しかし、設備投資にはかなり厳しい状況である昨今を理解し、既存設備の診断による延命処置や、改良改善工事などの作業も可能であり、お客様の現場で相談や提案をさせて頂ければ幸いです。今後とも宜しくお願い致します。



- ピンポイント洗浄機
- 玉まるめ
- 樹脂製歯車と
- 樹脂製カスリの刃



このページは、賛助研修会員さまのご紹介ページです。掲載は、研修担当理事よりお願い申し上げますが、会員さまよりの要望も承りますので、ご希望の方は、事務局までご連絡ください。また案内パンフ等も同封して、組合員様に送りますので、60部ほどをご用意いただければ幸いです。次月は、(株)桑原サービス会員、日本製粉(株)会員を予定しています。



恩地 食品 株式会社

淀川支部

代表取締役 **恩地 宏昌**

■ 社長になる直前の飲み会。
10 人程の幹部の人が集まって飲み始めた。
酔う程に愚痴や意見が出ていた。その時一人が立ち上がって大声で叫んだ。
「ここにいる皆で新社長を支えよう！」しだいに全員が集まり手を握り合った。目と目には涙があふれていた。

- 社長になる 3ヶ月前に受けたブレイクスルーというセミナーで「あきらめている自分に気づいた。」父親や先輩が引いてくれたレールに乗っていた自分、少しの知識でワンマンを振りまいていた自分からの脱却であった。人としての器をしり、人に与えるために社長として生まれてきたことを感じた。
「組織経営だ」「責任と権限委譲」だと社員に言い、人の話を聞くとすぐさま指摘してきた自分が、以後は、100%受け入れられるようになったと思っている。ここから社員とパートナーになったようだ。そんな社員が今の恩地食品を支えてくれています。
- 我が社の強みといえば、一人一人の社員と、その組織力です。60年より新卒採用を行い、亡き田中先生の指導のもとマナー研修に力をいれてきました。これらが社のモラル、モチベーション、社会人としての心構えとなり、企業文化を築いてきました。大好きな言葉があります「継続こそ力なり」、継続こそと言えるまで続けてきたことが今の恩地食品を形成しています。
- 枚方市ってどんな町？ひらパーと恩地うどんのある町と言ってもらえるようにしたいですね。大阪の食文化の発信を世界に！同時に地域に愛される企業に！地元の PTA の会長、商工会議所活動等にも地域と共にを大事にしています。
- 社会貢献、3日かけて気仙沼から福島県郡山へきつねうどん 2000 食の炊き出しに行ってきました。そして帰りに空っぽになったトラックに、風評被害の福島県の名産品を一杯買ってきました。炊き出しの機材も地元のレンタルを予約しました。地元でお金を落とすこと、その方が経済が回ると思うからです。
- 健康目標、マラソン出場を計画し鍛える励みとしています。枚方ハーフマラソンで経験し、この前はホノルルマラソンを 7 時間半で完走しました。やっぱり準備と予防が大事と知りました。
- 「ここで働いて良かった」と従業員に言ってもらえるようにすること、また 4 人の子供を守ることに、これがこれからの私の責任、生きる力です。



脇 陽三 社長

脇製麺所

堺泉支部

代表 **脇 陽三**



脇 勝久 さん

- 脇製麺さんに行くのは何年振りだろうか、亡くなった親父は脇さんの親父さんとよく飲んだ仲間だった。若かった私は脇製麺さんの工場を見学させていただいて、帰って親父に話したことを覚えている。何を見て、何を話したかわ覚えていないが新しい機械にわくわくしたのを思い出した。堺市の中百舌鳥は地下鉄が我孫子から伸びて一気に繁栄した街だ。道路の左右に有名な飲食チェーン店が所狭しと並んでいる。その道路から東に入ってすぐのところに会社がある。狭い道にやけに車の通りが多い。昔は家がなかったのと思いつつ到着した。奥様が出迎えて頂き、脇陽三社長とご子息の勝久君がインタビューに応じてくれた。
- 陽三社長「安心と安全な麺で社会に還元、お客様に還元、よい商品を適正な価格で頑張ってきた。昔ながらの良き製法を守りつつ頑固に味作りに励んできた」と自社の理念を教えてくださいました。勝久君は「配達に行くにつれお客様の料理人の人に、うまい麺やと言われるとうれしい」「朝 4 時に起きるのは辛いけど、自分が起きないと仕事が回らんとって頑張っています」26才の若々しい笑顔が元気を伝えてくれた。
- おじいさんから、父から仕事を自分に回してくれたことに感謝しています。目標は販路拡大。もっとお客様に喜んでもらえること。勝久君が力強く語ってくれたことに、陽三社長がほほ笑んだ。部屋の壁両面におじいさん脇正雄さんの表彰状がずらっと並んでいる。知事表彰が何枚もあった。地域貢献の賜物である。勝久君にはそんな脇製麺を立派に続けてもらいたいと感じた。
- 風呂上がりのストレッチと犬の散歩が日頃の運動だが、日曜にはテニスに行く、冬はスキーに行く、バイクに乗って日帰りで行ったことがある。陽三社長は結構若い。

平成 23 年度の年金額は 0.4% 引き下げ サラリーマン世帯の標準的な年金額は月額 231,648 円に

総務省は 1 月 28 日、平成 22 年平均の全国消費者物価指数（生鮮食品を含む）が前年に比べ 0.7% 下落したと発表。これを受け、23 年度の年金額は 0.4% 引き下げられる。年金額の引き下げは 18 年度以来 5 年ぶり。

17 年の物価水準を基に年金額を改定

現在、実際に支給されている年金額は平成 12～14 年度の物価下落時（1.7%）に年金額を据え置いた「特例水準」だ。一方、16 年改正により法律上想定している年金額を「本来水準」と呼んでいる。

特例水準の年金額は、物価が上昇しても据え置き、物価が下落したときに引き下げられる。これに対し、本来水準の年金額は物価変動率や名目手取り賃金変動率で改定される。今後、本来水準の年金額が特例水準を上回れば、本来水準の年金額が支給される。

23 年度は引き続き特例水準の年金額が支給され、次のしくみで改定される。22 年の物価は 0.7% 下落した。だが、「給付等の額の計算に関する特例措置」（16 年改正法附則 7 条・同 27 条）により、物価が下落した場合、直近の年金額改定の基となった物価水準を下回った分だけ引き下げるルールがある。直近の改定は 18 年度。その前年の 17 年の物価水準が基準になる。その後、物価は 18 年に 0.3%、20 年に 1.4% 上昇し、21 年に 1.4% 下落したため、22 年時点では 17 年の水準を 0.3% 上回っていた。今回 0.7% 下落したため、差し引き 0.4% 下回り、その分年金額が引き下げられる。また、22 年度時点では特例水準が本来水準を 2.2% 上回っていた。今回、特例水準は 0.4% のマイナス改定、本来水準は物価下落にあわせ 0.7% のマイナス改定となるため、その差は 2.5% に広がる。

23 年度の年金額と計算方法は図表 1 のとおり。年金改定率は 0.985 から 0.981 (0.985×0.996) に変わる。

在老の支給停止調整（変更）額は 46 万円に

国民年金保険料は、16 年改正により毎年度 280 円ずつ引き上げられる。実際は法定された各年度の保険料額（16 年度価格）に、物価変動率と実質賃金変動率を加味して改定される（国年法 87 条 5 項）。23 年度の法定額は月 15,260 円だが、21 年の物価が 1.4% 下落したことなどもあり、23 年度は月 15,020 円と、22 年度の 15,100 円を下回ることになった（図表 2 参照）。

在職老齢年金の支給停止調整開始額は「28 万円に 17 年度以後の各年度の再評価率の改定の基準となる率を乗じて得た額」が 1 万円単位で変動した場合に（厚年法附則 11 条 2 項・4 項、同法施行令 6 条の 8）、支給停止調整（変更）額は「48 万円に 17 年度以後の各年度の名目賃金変動率を乗じて得た額」が 1 万円単位で変動した場合に（厚年法 46 条 3 項・4 項、同法附則 11 条 3 項・4 項）、それぞれ改定される。その結果、23 年度の支給停止調整開始額は 28 万円のままだが、支給停止調整（変更）額は 46 万円になる（図表 3 参照）。

大阪府社会保険労務士会会員 第 5602 号
岡西社会保険労務士事務所
社会保険労務士 岡西 武士
TEL 06-6471-2886 FAX 06-6471-2581
■ 阪神共栄食品有限公司 代表取締役
■ 全麺連製麺技能士部会 会長
■ 大阪府製麺商工業協同組合 相談役

総会ご参加のお礼

5 月 27 日（金曜日）、湊町にあるホテルモントレグラスミア大阪に於きまして第 63 回通常総会を開催しましたところ、多数のご参加を頂きました。御礼申し上げます。

● 図表 1 平成 23 年度の年金額

老齢基礎年金 = 804,200 円 × 0.981 ÷ 788,900 円（月額 65,741 円）…①

老齢厚生年金 = 360,000 円 × 0.917 × 7.51000 × 480 月 × 1.031 × 0.981 ÷ 1,202,000 円（月額 100,166 円）…②

サラリーマン世帯の標準的な年金月額（① × 夫婦 2 人分 + ②） = 65,741 円 × 2 + 100,166 円 = 231,648 円

※厚生労働省は 23 年 2 月 9 日付資料で年金月額の端数処理について、1 円未満切り捨てに訂正した。

● 図表 2 平成 23 年度の国民年金保険料額

16 年度価格の保険料額 × 前年度（22 年度）の保険料改定率 × 2 年前（21 年）の物価変動率 × 4 年度前（18～20 年度）の実質賃金変動率 = 15,260 円 × (1.008 × 0.986 × 0.990) = 15,016 円 ÷ 15,020 円

※23 年度の保険料改定率 = 1.008 × 0.986 × 0.990 = 0.984

● 図表 3 平成 23 年度の在職老齢年金の支給停止調整（変更）額

48 万円 × 各年度の名目賃金変動率 = 48 万円 × 1.003（17 年度） × 0.996（18 年度） × 1.002（19 年度） × 0.998（20 年度） × 1.001（21 年度） × 0.976（22 年度） × 0.980（23 年度） = 463,689 円 ÷ 46 万円

※平成 23 年度の国民年金保険料改定率、在職老齢年金の支給調整の基準額は、23 年 3 月末の政令で決定される。

2011 年 6 月 14 日～16 日 インテックス大阪にて うどん・そば・ラーメン 産業展が開催されます

Noodle WORLD KANSAI
関西うどん・そば産業展
関西ラーメン産業展
関西パスタ産業展

INTER-FOOD KANSAI
関西府産産物産業展
関西店舗環境改善展

省エネ・省CO

西日本の外食・小売業界から日本を元気に！
Noodle WORLD KANSAI

第4回 関西うどん・そば産業展 / 第4回関西ラーメン産業展 / 第1回関西パスタ産業展

TOP 開催概要 来場のご案内 出展社一覧 5月27日公開

過去最大の480ブース以上が集結！
麺を扱う店舗によつての年に一度の仕入れの場

過去最大、かつ西日本最大規模で盛大に開催

2011年6月14日(水) 15日(木) 16日(金) インテックス大阪

組合員ならびに賛助研修会員は常に増強補充中です。ともに助け合い、情報の共有を進め、麺の普及に努めましょう。皆様方のご発展に組合は協力をおしめません。加入は事務局までご連絡ください。

大阪府製麺商工業協同組合

事務局 柳 美千子

〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀 1 丁目 12 番 14 号

電話 06-6532-1715 FAX 06-6532-1719

Email seimen@titan.ocn.ne.jp

掲載誤り等は事務局までご連絡ください